

都市再生整備計画 事後評価シート

津久見地区

令和7年3月

大分県津久見市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	大分県	市町村名	津久見市	地区名	津久見地区			面積		56.7(13.0)ha			
交付期間	令和2年度～令和6年度	事後評価実施時期	令和6年度	交付対象事業費	162.1	国費率	0.5						
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	事業名 角崎公園整備事業(角崎公園)、ポケットパーク整備事業(ポケットパーク)、避難広場整備事業(展望広場)、下岩屋橋周辺憩いの広場整備事業(下岩屋橋周辺広場)、道路美装化整備事業(市道大友岩屋線)、下岩屋橋高質化整備事業(下岩屋橋)										
		提案事業	図書館周辺環境整備事業(図書館前)										
	当初計画から削除した事業	基幹事業	事業名		削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響					
		提案事業											
	新たに追加した事業	基幹事業											
		提案事業											
	交付期間の変更	当初	令和2年度～令和6年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響									
		変更	—										
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指 標		単位	従前値		目標値		数 値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因 (総合所見)	フォローアップ 予定時期
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
	指標1	市道大友岩屋線(旧市道大友線)の歩行者・自転車の通行量	人/日	149	R2	157	R6	236	○	あり なし	下岩屋橋の整備や市道大友岩屋線の整備、津久見川の河川改修、ポケットパークの整備等の様々な事業を総合的に実施したことにより、質の高い道路・河川空間の形成が実現し、歩行者・自転車の移動が多く、回遊性が高まっている。	—	
	指標2	角崎公園を活用したイベント数	回/年	0	R2	3	R6	4	○	あり なし	角崎公園の整備と併せ、自家用自動車協会解体工事を進めたことにより、一体的な空間としての活用が可能となったことがイベントの利用促進に大きな効果があったと考えられる。	—	
	指標3								あり なし				
	指 標		単位	従前値		目標値		数 値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因 (総合所見)	フォローアップ 予定時期
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	その他の数値指標1	角崎公園の歩行者・自転車の通行量	人/日	—	—			25				主にトイレや散歩による利用が中心であり、オープンスペースとしての整備やトイレの設置により、銀行利用者や地域住民の方の利用が多くなったものと考えられる。	—
	その他の数値指標2												
	4)定性的な効果発現状況												
・津久見市民図書館前の整備により、令和5・6年の利用者は増加しており、特に中学生による利用が多く、利用促進に繋がっている。 ・津久見川の河川改修により、災害に対する安全性の向上や景観の向上、生き物の良好な生息地となっているほか、学生の利用も見られており、利用促進に繋がっている。													
5)実施過程の評価			実施内容				実施状況				今後の対応方針等		
	モニタリング	なし					都市再生整備計画に記載し、実施できた						
							都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した						
							都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった						
	住民参加プロセス	復興まちづくり事業【関連事業】 (津久見復興・街なかにぎやかプロジェクト事業)					都市再生整備計画に記載し、実施できた				● 復興まちづくり事業は令和3年に完了している。引き続き、地域住民・事業者・団体等の多様な関係者と連携し、整備してきた都市基盤を活用した取組を推進する。		
							都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した						
							都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった						
持続的なまちづくり体制の構築	なし					都市再生整備計画に記載し、実施できた							
						都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した							
						都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった							

様式2-2 地区の概要

津久見地区(大分県津久見市) 都市再生整備計画事業の成果概要									
まちづくりの目標		目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
大目標: 水害からの復興を契機とした市中心部の活力あふれる定住促進のまちづくり 目標1: 豊かな川を軸とした魅力ある住み続けたい街並み形成と周遊性の向上 目標2: 安心安全で快適な暮らしの実現に向けたつながり合うまちづくり		市道大友線の歩行者・自転車の通行量	単位: 人/日	148	R2	157	R6	236	R6
		角崎公園を活用したイベント数	単位: 回/年	0	R2	3	R6	4	R6
		角崎公園の歩行者・自転車の通行量	単位: 人/年	-	-	-	-	25	R6

角崎公園

ポケットパーク

道路美装化

津久見地区: 56.7ha

津久見港側(津久見市役所新庁舎・街なか観光拠点・つくみん公園等)、市中心部(駅前商店街・JR津久見駅等)、津久見川・津久見市民図書館等の各エリアを繋ぐ歩行者ネットワークを検討するなど、沿道土地利用を踏まえつつより一層、市街地内の一体感を高めていく必要がある。

下岩屋橋

展望広場

津久見市民図書館

まちの課題の変化	・今後、新庁舎の整備や街なか観光拠点の整備を予定しており、今後、都市構造が変化することが考えられる。津久見港側(津久見市役所新庁舎・街なか観光拠点・つくみん公園等)、市中心部(駅前商店街・JR津久見駅等)、津久見川・津久見市民図書館等の各エリアを繋ぐ歩行者ネットワークを検討するなど、沿道土地利用を踏まえつつより一層、市街地内の一体感を高めていく必要がある。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	・津久見川・津久見市民図書館・角崎公園等におけるイベントの創出、地域団体や民間事業者等が主体となった活動に対する支援、地域住民等との協働体制の構築などの仕組みづくりを進める。 ・国道217号によるエリアの分断を解消するため、津久見港側と市中心部を繋ぐ主要導線の整備による一体的な空間づくり(JR津久見駅前環境整備や駅舎のバリアフリー化、舗装やサイン等の整備、空家等の未利用地の利活用、交差点整備など)の検討を行う。 ・市道岩屋線道路改良(関連事業)等に関連して質の高い歩行者空間の整備を進める。 ・企業立地促進・創業支援事業補助金、津久見市危険空き家等除却事業補助金等の補助制度の活用促進に向けた周知・啓発等を進める。